

早川町応援団獲得マガジン

やまたらけ

YAMADARAKE

September
2022



犬たちの絆
早川町民と

早川町に生れる大たち

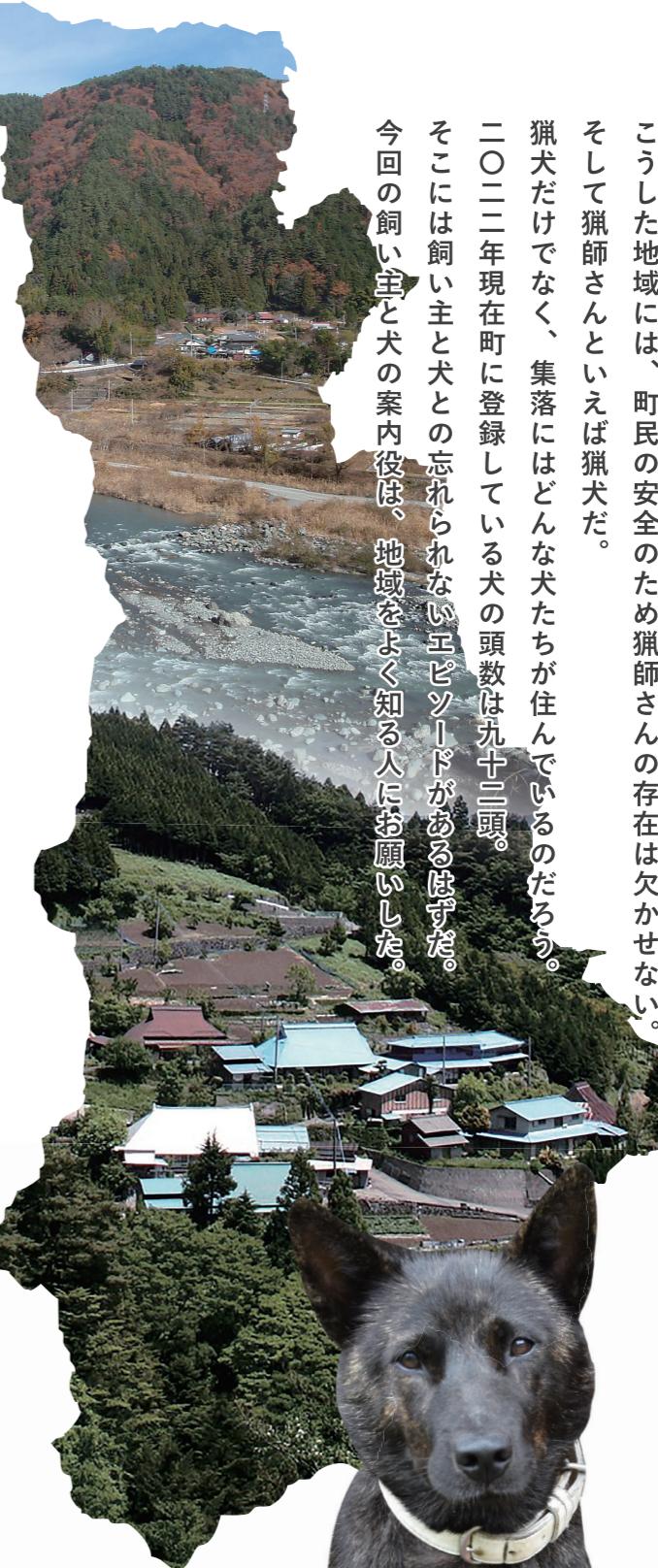
南アルプスの深い山々に囲まれた、山梨県南巨摩郡早川町。

カモシカ、ニホンジカ、イノシシ、サルなどたくさんの野生動物が、身近に生きている。

こうした地域には、町民の安全のため獵師さんの存在は欠かせない。

そして獵師さんといえば獵犬だ。

獵犬だけでなく、集落にはどんな犬たちが住んでいるのだろう。二〇二二年現在町に登録している犬の頭数は九十二頭。そこには飼い主と犬との忘れられないエピソードがあるはずだ。今回の飼い主と犬の案内役は、地域をよく知る人にお願いした。



取材・文 浜田 尚子

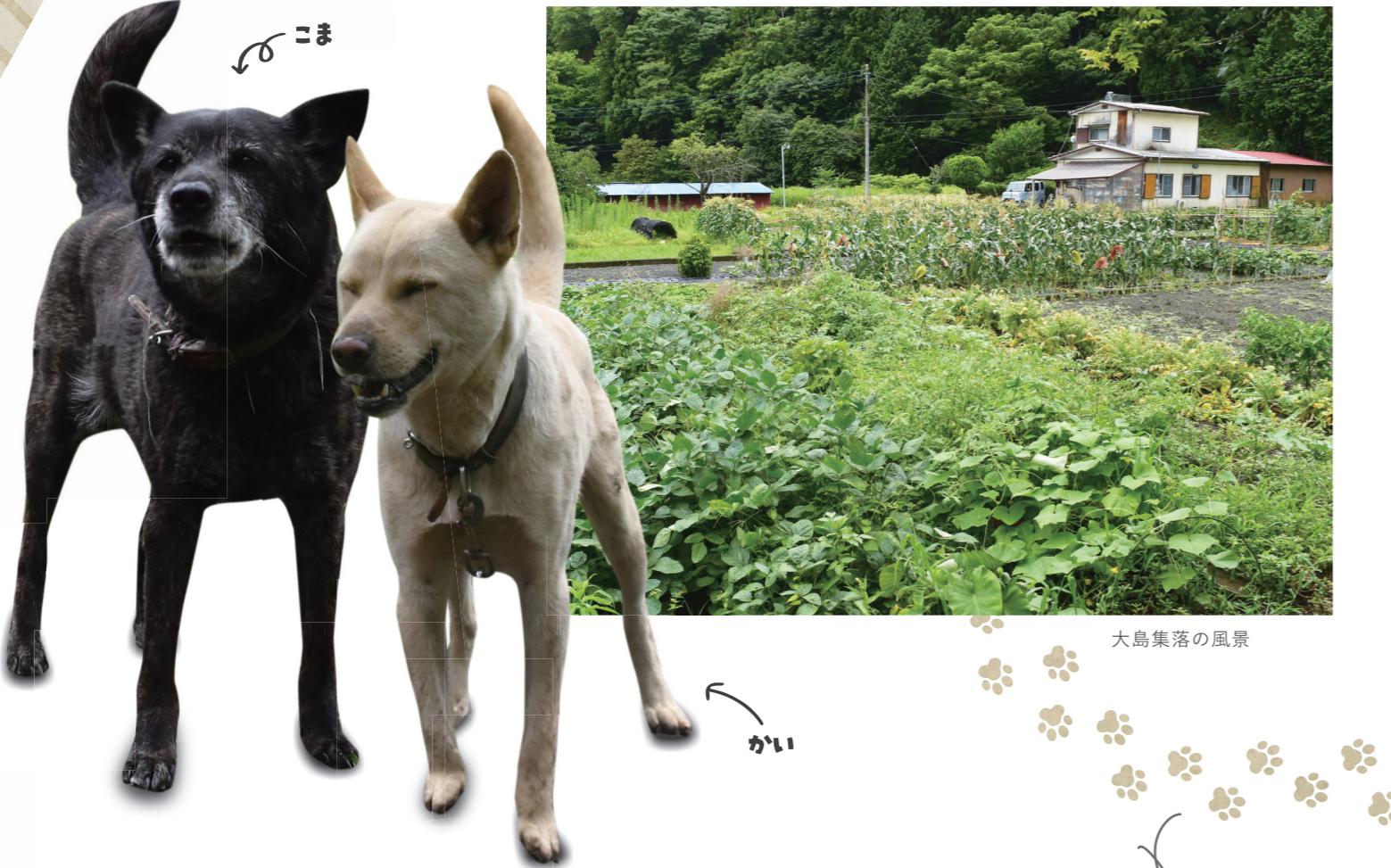


どもの小梅だ。

飼い主は、本流堂の大窪毅さんと美樹さん。おつき（メス・2歳2ヶ月）小梅（メス・2ヶ月）生まれたばかりの子犬だ。

小さな梅の実がなっている

千須和集落で会うことがで
きたのは、母犬おつきとその子



大島集落は山が迫り、平らな土地に民家と田んぼ、畠が広がっている。そのため山と集落の間に、ネットを張り、動物の侵入を防いでいる。

にもかかわらず、シカはネットを飛び越え、イノシシは突き破り侵入してくる。

集落で二匹の犬を飼うのは、望月健市さん。母犬は黒い毛並みのこま（メス・13歳）。その子どもは白い毛並みのかい（オス・7歳）。黒い毛並みの母犬から、白い毛並みの子どもが生まれるのは、珍しいそうだ。

数年前のこと。犬たちが激しく吠えてるので、望月さんが外に出でみると、突然大きな黒いかたまりが、目に飛び込んできた。よく見るとイノシシだった。

あわてて家に入り、外の様

時に生まれたので、小梅と名付けたそうだ。おつきも小梅も、黒い毛並みに茶色い毛が混じり、とても美しい。

本流堂では早川・富士川流域で、ラフティングなどの体験

案内をしてくれる。本流堂を訪ねてくる人に、おつきはとてもフレンドリーで可愛いがらも、おどろいたのか、イノシシを威嚇している。犬の剣幕はいなくなってしまった。

侵入場所を調べると、張つてあったネットに、大きな穴が開いていた。

獵師さんと相談をして、穴の近くにワナをしかけてもらつた。数日後あの時とよく似たイノシシが、ワナにかかりっていた。

「破られるたびにネットを修理しているが、いつの間にか穴が開いている」

望月さんはため息をついた。

それでもこまとかいの活躍で、イノシシは追い払えた。二匹は立派な番犬だった。





奈良田の秘湯 白根館

緑の下草に映える毛なみは
美しかった。足腰がしまり、今
にも山の斜面を駆け上りそう
に見えた。

名犬を見分けるのも猟師の
仕事だと深沢さんは話してくれ
た。
① 猟欲があるか。
② 捜索
力があるか。
③ 追跡する能力
があるか。
④ 耐久力があるか。
⑤ 聴覚がよいか。これらの条件
がそろつた伝説の名犬ヅ
チーを、深沢さんは飼つたこと
がある。ヅチーは見てくれの
悪いメス犬だった。けれども猟
師仲間から「獲物をめつけた

かつた。ところが、思いがけず深沢さんがクッキーの写真を撮つていてくれた。

その写真を見ておどろいた。こんなに野性味あふれる犬を見たことがなかつたから

古屋集落で猫と犬を飼うのは、望月希代美さん。二匹とも保護をされ、希代美さんのと



空が望月さんのところに
やってきたばかりの頃

の後フツチーは恩返しをする
ように、以前と変わらない勵
きをしてくれた。

A medium-sized, brown dog with a thick coat and a black muzzle stands in a dense field of green leafy plants. The dog is facing slightly to the right, looking towards the camera. It wears a silver metal collar with a small tag and a light-colored rope leash attached to its front. The background is filled with various green foliage and small bushes.

写真：クッキー／撮影：深沢守

卷之三

が飼い主との絆を深めたくま
早川町では、それぞれの犬
で活躍しているにちがいない
しく生きていた。

「山だらけで、静かで空気も
よくていいワン」

療養中のゆきさんがベッドで寝ていると、布団の上にのっかるいちご。希代美さんがいちごをどけようとする「いわ、いいわ」と、ゆきさんはいちごの好きなようにさせていた。

犬の空はとにかく人なつっこく、かわいがってくれる近所の人気が大好きだ。首輪が外れた時も、走り回る空をその人がつかまえてくれた。

希代美さんが住む集落には、シカがよくやって来る。小屋をのぞかれた空は、シカが苦手ですぐに吠えて、知らせててくれる。

奈良田の秘湯、白根館館主の深沢守さんは三代目獵師だ。深沢さんの飼い犬は獵犬三匹。モコ（メス・12歳）クッキー（オス・5歳）プツチヨ（メス・4歳）。



落葉集田良奈

ぼくの仕事は獵犬だ クッキー

からいやだ」と、亡くなつた母ゆきさんは、そう言いながらもいちごにミルクを飲ませて育てた。いちごもゆきさんによくなついた。

入り手帳を持って出てきた。
そして「いちご」が来たのは
ねえ、平成十六年九月二十六
日よ」と、懐かしそうに教えて
くれた。希代美さんが二匹を、
家族のように思う気持ちが、

やまだらけ定期購読のお願い

「やまだらけ」の発行は広告料と会員の皆様の会費で成り立っています。会員として、この取り組みを支えてください。

会員の皆様には、「やまだらけ」を毎号お届けいたします。今後も「山の暮らしの価値」と、それを後世に守り伝える人々の活動をお伝えして参ります。

【年会費】正会員：10,000円
賛助会員：3,000円

【振込先】ゆうちょ銀行 ○二九店
当座 0095644

【名義人】特定非営利活動法人
日本上流文化圏研究所

次回予告

三里地区の石造物

次回やまだらけ特集は、早川町、特に三里地区内に存在する石造物から読み解く3つの歴史についてお届けします。早川町内最古と言われる石造物「武士墓場の石碑」が伝える室町時代の決闘伝説や、新倉の石祠に祀られる河の神「弁天様」と雨乞いの関係、茂倉二十三夜塔と共に臨んだ月見の歴史など、空白となっていた早川の歴史を見守り続ける、物言わぬ石造物に秘められた物語、是非お楽しみに。



特別企画 鳥の目 虫の目

平成15年(2003)に発行を始めた『やまだらけ』。まもなく迎える100号の節目まで、上流研のこれまでの取り組みを6回に渡って振り返る本企画。今回は5回目となります。



子どもたち自身が計画して制作したツリーハウス

その
05

早川子どもクラブ

上流研はこれまで、早川町の歴史や文化、人々の暮らしを伝えていく「ファイールドミュージアム」の構想に基づいて事業に取り組んできた。やまだらけやガイドブック等を通じての情報発信だけでなく、実際にこうした歴史や文化を体験する活動も行ってきた。2013年から2021年まで9年間活動を行ってきた「早川子どもクラブ」もその一つである。

早川町の持つ風土や環境を活かして、地元の子どもたちに早川町で暮らす楽しさを知つてもらい、地域への愛情や誇りを育んでいくことが「早川子どもクラブ」の基本理念である。活動内容は主に、早川町住民の指導を受けて田

身で制作したツリーハウスを拠点に、野外・屋内での遊びや体験活動を行うもので、身の回りにある自然の材料や拠点の道具を用いて遊びを行うことで、子どもたち自身がやりたい事を考え、視野を広げて上級生、下級生の垣根を越えて相互に協力、成長しあえる能力を広げるためのものである。

こういった体験を通じて、子ごもたちの早川町の文化や歴史への理解を深め、早川町への興味関心、そして愛着を引き出していきたい。

特有の文化を自身の体験として子ども達に知つてもらえた事は大きな成果であったと考えている。

こうした子どもクラブの活動では、「冒険遊び場」という伝統行事である柳立てにも参加し、火伏の行事に参加した。

近年では新型コロナウィルスの猛威が振るう中、感染対策を行いながらも山村地域

植えやきのこの植菌体験とその収穫といった食育体験は、ミュージアムの構想に基づいて事業に取り組んできた。やまだらけやガイドブック等を通じての情報発信だけでなく、実際にこうした歴史や文化を体験する活動も行ってきた。2013年から2021年まで9年間活動を行ってきた「早川子どもクラブ」もその一つである。

早川町の持つ風土や環境を活かして、地元の子どもたちに早川町で暮らす楽しさを知つてもらい、地域への愛情や誇りを育んでいくことが「早川子どもクラブ」の基本理念である。活動内容は主に、早川町住民の指導を受けて田

身で制作したツリーハウスを拠点に、野外・屋内での遊びや体験活動を行うもので、身の回りにある自然の材料や拠点の道具を用いて遊びを行うことで、子どもたち自身がやりたい事を考え、視野を広げて上級生、下級生の垣根を越えて相互に協力、成長しあえる能力を広げるためのものである。

こういった体験を通じて、子ごもたちの早川町の文化や歴史への理解を深め、早川町への興味関心、そして愛着を引き出していきたい。

特有の文化を自身の体験として子ども達に知つてもらえた事は大きな成果であったと考えている。

こうした子どもクラブの活動では、「冒険遊び場」という伝統行事である柳立てにも参加し、火伏の行事に参加した。

上流研の取り組みを応援していただいています！

毎分 1,830L 湯温 52℃の源泉自噴温泉では日本随一を誇る新湯露天
全てのお風呂、露天風呂、浴槽、シャワーに至るまで 温泉掛け流し

全館源泉掛け流しの宿
慶雲館
西山温泉
〒409-2762 山梨県南巨摩郡早川町西山温泉
TEL 0556-48-2111 FAX 0556-48-2611 <http://www.kelunkan.co.jp>

さかはら 早川町特産品・観光PR
早川町の魅力を東京で発信します！
～お気軽にお問い合わせください。～
ANNIVERSARY CONCIERGE
アニバーサリーコンシェルジュ
TEL : 03-5823-4043

里山の自然 **雑木林の20年**
瀬長剛 絵・文

雑木林の1年間と20年間の変化を、色鉛筆のやさしい風合いのイラストで描く。雑木林の生きもの図鑑も収録。
小学校中学年から／定価2750円（税込）
偕成社 東京都新宿区市谷砂土原町3-6 TEL.03(3260)3221 FAX.03(3260)3222

南アルプス街道の交通安全と
清流早川の自然を守ることを永遠のテーマに
地域社会の発展に貢献する事を目指します。

早川砂利協同組合

山梨県南巨摩郡早川町小綱 26
電話 0556-45-2450

生命保険、損害保険のことなら
株式会社 さいとうエージェンシー
tel.055-280-3360 fax.055-280-3361

自動車販売、オートリース、レンタカーのことなら
有限会社 S·T·E·P
tel.055-280-3350



〒400-0422 山梨県南アルプス市荊沢 1356-1

早川町で感動体験を…
南アルプス生態邑
光源の里温泉 ヘルシー美里
南アルプス邑野鳥公園



ご予約・お問い合わせ
TEL/0556-48-2621
<http://www.hayakawa-eco.com/hmisato/>

地域発展のお手伝い！地域の暮らしを守る！
早邦建設株式会社

[本社] 〒409-2732 山梨県南巨摩郡早川町高住 645-27
TEL.0556-45-3000 FAX.0556-45-2289
[生コンクリートプラント] TEL.0556-45-2700
<http://www.sohoh3000.com/>


日新火災海上保険 代理店
日新火災

幡野保険事務所

〒409-3306
山梨県南巨摩郡身延町夜子沢4020
TEL 090-8014-1337
FAX 0556-42-3073

【編集後記】また、鹿が作物を荒らした。そんな話を、地域の人たちからよく聞く。その話といっしょに、獵犬の活躍ぶりも耳にする。今号は、その獵犬のことを知っていたくてとりあげた。また、1歩ふみこんで、獣害から作物を守るきっかけにしてほしい。

山を覗けば宝の
やまたらけ

発行元／NPO法人日本上流文化圏研究所
住所／山梨県南巨摩郡早川町薬袋430
t: 0556-45-2160 f: 0556-45-2268

www.joryuken.net